

【別表A(5)－2(公益充実資金の明細)】

資産	
特定の事業又は資産取得等の名称	原宿会館建替積立資産
当該活動の内容	原宿会館（JNAビル）の建替えのための資金。
計画期間（目的設定～実施）	西暦 2010 年 4 月 ～ 2040 年 3 月 月数（ 359 月）
所要額の算定方法	現状と同じく、地下2階－地上8階の建物の建築を予定している。 使用については、計画当初の面積割合と同様、公益事業50.0%、収益事業35.7%、法人会計14.3%を予定。 現有建物、建物付属設備及び構築物の取得額の実績値（30億円）を基礎として、耐用年数による減価償却額を基に積み立てていく。 令和19年度までに毎年度7,248万6,544円を積み立て、着工を予定している令和20年度には7,248万6,526円を積み立てる。着工時に10億円を取り崩し、完成予定の令和21年度には残りの20億円を取り崩す。 なお、建物の使用面積に応じて、公益への今年度の積立額は、7,248万6,544円×50%＝3,624万3,272円。

資産	
特定の事業又は資産取得等の名称	看護研修学校建替積立資産
当該活動の内容	看護研修学校の建替えのための資金。 令和7年2月の理事会にて建替計画の変更について承認され、現在、建替の具体的時期及びそれに伴う公益充実資金の金額の変更について検討中。
計画期間(目的設定～実施)	西暦 2010 年 4 月 ～ 2031 年 3 月 月数 (251 月)
所要額の算定方法	【当初予定】 現有建物、建物付属設備及び構築物の取得額の実績値(13億9,000万)を基礎として、耐用年数による減価償却額を基に積み立てていく。 平成22年度末までに15億400万円の資金を積み立てており、平成23年度に1億5,657万8,952円を積み立て、平成29年度までは毎年度5,657万8,952円を積み立てる。 また、着工時に着手金として6億円を取り崩し、完成を予定している平成30年度に残り14億円を取り崩す予定。 【計画変更】 平成28年度に建替金額の精緻化のため、再見積を取得した結果、合計32億3,290万円が必要となった。 そのため、竣工予定年度を令和12年度に延長し、積立額も平成29年度は当初の通り5,657万8,950円を積み立て、平成30年度から令和10年度までは1億274万1,666円を積み立て、着工を予定している令和11年度には1億274万1,674円を積み立てる。

0											
特定の事業又は資産取得等の名称											
当該活動の内容											
計画期間(目的設定～実施)	西暦		年		月	～		年		月	月数 (0 月)
所要額の算定方法											

0											
特定の事業又は資産取得等の名称											
当該活動の内容											
計画期間(目的設定～実施)	西暦		年		月	～		年		月	月数 (0 月)
所要額の算定方法											

0											
特定の事業又は資産取得等の名称											
当該活動の内容											
計画期間(目的設定～実施)	西暦		年		月	～		年		月	月数 (0 月)
所要額の算定方法											